	п
	IJ

市の重点項目	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	 改善の方向
全職員や地域コミュニティとの協働による積極的な指導	いじめ対策監を中心とした心の教育にチームで取り組み、「笑顔かがやく学校」づくりを目指す。地域とのつながりを大切にした活動を工夫し、地域の一員としての自覚がもてるようにする。	А	いじめ対策監を中心に計画的に取り組み、 児童の中にいじめをなくすという意識が高まったと教職員の自己評価で評価された。 コロナ禍であったが、感染防止に配慮して 学習支援や地域の方によるゲストティー チャー活動を行い、地域への愛着を育むことができた。	コロナ禍でも子どもたちが笑顔であることに 感謝している。学習サポーターは大人のカ だが、子どもたちと過ごす時間は子どもたち から私たちへの心の支えだと実感した。今 後も明るい温かい本荘の核となる小学校と 連携していきたい。	地域の方と子どもたちの顔と顔とがつながる関係を築くことで、コミュニケーションが図れ、安心や安全なくらしが実現できる。いじめ防止の取組にも地域の力は大切である。これからも地域とつながりながら、子どもたちを育てていく。
に踏まえた社会に開かれた 教育課程を編成・実施・評価	新学習指導要領の趣旨や社会情勢を踏まえ、各教科・領域、行事等の教育活動等の工夫改善を進めていく。ICTを効果的に活用し、思考力・判断力・表現力を育てる。	В	本荘小「学びの基本」の授業づくりを大切にして、学力向上を図ってきた。タブレットを活用しての授業や家庭学習の取組も積極的に取り入れ、効果を上げることができた。コロナウイルス感染防止のため学習活動に制限はあったが、教育活動を工夫し、児童の理解を深めることができた。	コロナ禍で先が見えないが不安にならず、 ワクワクできるような取組を考えてほしい。 できる範囲で思い出に残る活動を考えてあ げたい。 学級定員の見直し、リモートでできることな ど、学校教育の在り方もいまだからこそ見直 していくとよい。	タブレットの効果的な活用をさらに進め、コロナ禍であっても、児童が主体的に学習に取り組み、学力向上を図るための教育活動の工夫をする。また、児童一人一人のもつ個性や考え方の相違を認め合う指導も継続する。
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、ソーシャルキャピタ ルを活用した学校づくりを推 進する	幼保小連携や小中一貫教育を推進 し、学習や生活の基本の徹底、郷土 を愛する心の醸成を図っていく。	В	昨年度に行った幼保小での情報交流をもとに児童への支援を行った結果、入学後の生活がスムーズに始められた。今年度も密に連携を取ることができた。中学校の教員による出前授業を行い、小中一貫教育を推進し、郷土を愛する心の育成を図った。	幼保小の連携によって、入学後の子どもの 成長が見られた。今年度も幼保小の交流が できたのは良かった。できたら、保育園や幼 稚園と高学年との交流もできるとよい。	校区外の幼稚園・保育園とも連携し、児童の実態に応じた適切な支援を進める。また、校区の小中で連携し、学習や生活ルールの徹底を図る。さらに、中学校と連携して郷土を愛する心の育成を図る。
教育環境と学校財務環境を 整備・管理し、有効に運用す る	児童にとって学びやすく、安全に生活できる環境を整えるため、人的・物的・財政的などの視点を明確にして改善を図る。	А	使わない物の整理や廃棄を行い、児童が安全に生活できるよう全職員で常に環境を整えることができた。また、事務官から財政に関する提案がなされ、全職員が財政面の視点をもつことができた。コロナ対応の予算も有効に活用できた。	教室や廊下など学校の環境が整備され、安全で活動しやすくなっている。コロナ対応で必要な物があれば、地域にも依頼してほしい。	児童の安全を第一に考えた環境整備を進めると共に、学びやすい環境づくりに取り組んでいく。財政についての職員への啓発も事務官を中心に継続していく。
災害や事故等、多種多様な 非常事態に対する安全性の 確保をする	危機管理マニュアルの改善を図り、 様々な非常事態に対する危機管理意 識を高める。特に感染症防止につい ては全職員で徹底していく。		昨年度、地域の特性を踏まえて改善を図った危機管理マニュアルをもとに、命を守る訓練等を実施した。また、地域の方の協力でコロナウイルス感染防止対策も徹底することができた。	学校もアンケートや消毒等で仕事が増えている。消毒や検温など、地域でできることがあれば協力したい。	地域と連携して行う防災研修について地域 の方と協力して取り組むとともに、事前事後 の指導を学校で十分に行い、地域の一員と してどのように行動すべきかを明確にしてい く。

HPアドレス: http://cms.gifu-gif.ed.jp/honiyo-e/